

新年明けましておめでとうございます。同期諸兄姉のご健康ご多幸をお祈りいたします。

暮れに、4組の藤本幸生さんが公開を投稿された You Tube < Viva Flute フルート万歳 > には、WEB11 での新しい出会いの恵みを感じました。最近、日常的に、ラジオ体操や、音楽つきのストレッチ体操などで、You Tube の便利さを感じているのですが、早速 Web で検索したところ、「飛行機で通うレザークリニック」として人気があるという国際的にも活躍されているクリニック院長でもある息子さんが、ブログでこの公開を紹介されているのに出会い、チャンネル登録をして、藤本さんのフルート演奏を毎日楽しんでます。

これまで携帯はガラケーで来た私も、12月の誕生日記念にスマホに切り替えたのですが、毎日散歩で通う森林公園で、大晦日の午後、富士山を見ながら、スマホで、周りに人なく、音を大きくして、<フルート万歳>を聴きました。100曲以上収録されているようですが、その日は、<森へ行きましょう>と<未来へ>を聴きました。感<万歳>です。

年末には、佐々木さんの「新年を迎えるに当たって」で、日経新聞「人生100年の羅針盤」情報を頂きましたが、<好きなことに熱中する><今を楽しむ><出会いを大切に>に、私も同感です。<年齢なんて、ただの数字にすぎないんじゃないかなと思う>という倍賞千恵子さんの、老いも死も普通として受け入れる言葉にも、力を貰いました。

私も最近、卓上ダイアリーに3年連版を使用しているのですが、新年の初ページには、上記掲題の句を書きました。心は、余生を活性化するための「行」として、俳句を毎日詠む習慣を身につけよう>というものです。というのは、初心俳句を始めて新年は5年目になりますが、毎日一句目安のパソコンの俳句日記帳に空きが目立っているからです。これまで、<無理なく楽しくアイデアが出てきた時に>という向き合い方をしてきましたが、詠めた時のよろこびを、もっと味わいたいと思うようになりました。

去年の秋には、「2021 NHK 全国俳句大会募集」に初めて応募しましたが、これからは毎年続けていつか、春に出る「入選作品集」に載るのを楽しみにしたいと思います。NHK 俳句を、日曜の朝毎に、時に見逃した時には<NHK プラス>で後見していますが、視聴者への番組案内などで、新しく俳句を始める人と、そうでない人を分けるのに、10年詠んでいる人で分けていたりするので、<とにかく10年やってから見えてくるのかもしれない>と思い、すぐに載らなくてもそれはそれ、<見たい>思いは生き甲斐にも通じて、長生きにも繋がるのではないかと、おめでたく思ったりしているところです。

以上